

オリックス生命保険
想いをカタチにプロジェクト
 ～障がいや重い病気がある子どもたちの体験を応援～
2026年度 応募フォーム

1. 団体について

団体名（法人格含む）	特定非営利活動法人スターズアーツ		
設立年（西暦）	2011年	法人格取得年（西暦）	2022年
代表者氏名	本宮透雄		
代表者氏名ふりがな	もとみやゆきお		
代表者の肩書	理事長		
活動拠点	<input checked="" type="checkbox"/> 東京都 <input checked="" type="checkbox"/> 神奈川県 <input checked="" type="checkbox"/> 千葉県 <input checked="" type="checkbox"/> 埼玉県		
主な活動地域（市区町村）	港区		
所在地	〒107-0061 東京都港区北青山 1-6-1-118号		
メールアドレス	takaokakazuhiro@starsarts.or.jp		
電話	0354138055		
ウェブサイトなど	https://starsarts.or.jp		
理事	7人	監事	1人
スタッフ	8人	うち有給スタッフ	2人
ボランティア	20人	おおよその対象者数	550人
主な対象者	特別な処置、治療、配慮を必要とされる方 難病心疾患、障害当事者（重度身体・精神知的・視覚聴覚 他）や高齢者とその家族や関係者		
団体の主な活動 ※300字以内で簡潔に記入してください	歴史上に起こった自然災害（東日本大震災 他）からの復興過程に関する実態に関わるコンテンツ作り、伝承する機会や表現の場の創出、そこから得られる学ぶべき事や体験から素材として「教訓」を抽出し防災や減災、復興支援や再生に寄与、アートの力を利用して発信、次世代を担う人達に自然災害から学ぶ危機管理と防災道徳や予防、伝承継承させることを活動の目的とし、エンタメ発信やイベント公演を開催、産学連携、官民一体での調査や研究成果を基にした防災教育や専門的研修プログラムの構築や講習会・シンポジウムなど各種各様に反映させる団体		
直近会計年度の収入額（円） ※直近の財務報告書の金額と一致すること	1,848,913円		

2. 応募プロジェクトについて

プロジェクト名	難病・障害者や高齢者を専門とした防災ネットワーク（避難救済支援）構築
プロジェクトの概要 （150字以内）	重度身体障害当事者や難病、精神知的障害当事者・独居高齢者やその家族、関係者に対する社会的孤立の予防と解消 寝たきりや重度障害、障害当事者と新関係者、特別な処置、治療、配慮を必要とされる方向けの災害発生時の避難防災対策と現場対応（処置体制作り）の構築への取組
助成申請額（円） ※予算書の合計額を記入	1,564,000円
プロジェクト実施期間	2026年 4月 ～ 2027年 3月
プロジェクト対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 障害や重い病気のある子ども <input checked="" type="checkbox"/> 家族など（保護者、きょうだいなど） ※ 対象者として子どもは必須です。家族なども対象の場合は <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください
プロジェクト対象者 ※障がいや病気などの状態、対象となる子どもや家族などの主な年代やジェンダー、子どもとの関係（保護者・きょうだい・その他）などを記載してください ※子どもの対象年齢はおおむね17歳までです	実数： 500人（うち、子ども 200人） 対象者： ①特別な処置、治療、配慮を必要とされる方（難病、特定疾患、透析、人工呼吸器利用者、人工肛門やストマ、生命維持装置、他）とその家族や関係者 老若男女問わず ②障害当事者（重度身体・精神知的・視覚聴覚・言語 他）や高齢者（独居）とその家族や関係者 老若男女問わず
実施地域 （都道府県/区市町村）	都道府県：東京都 区市町村：港区 港区近隣千代田区・中央区・新宿区、渋谷区、品川区
背景・課題 （300字以内）	近々で起こりうる自然災害（首都圏直下型・南海トラフ沖地震他）が発生した時、難病、障害当事者（重度身体・精神知的）や高齢者（独居）への緊急時の支援や避難救済支援方法が定められていない事でこれらの方々が避難する場合「避難所まで辿り着けるのか」「避難期間中の処置対応や設備、受け入れは出来るものなのか？」「どのような支援や救済があるのか？」など殆どの当事者や家族・関係者の不安や心配は絶える事なく明確でなく不安で心配な日々を過ごしている背景がある
プロジェクトのねらい （300字以内）	様々な事にどうしても孤立してしまう難病、障害当事者（重度身体・精神知的）や難病患者、年々増加の一方の高齢者（独居） 誰一人取り残さない発災時の防災救済ネットワーク（避難方法や受入れ態勢）の構築を目的とし、防災避難対策や方法や手段を日頃から話し合い助けを求められる機会の創出や防災減災知識の取得や心構え知識の更なる向上のシンポジウム開催、設備的準備や対応手段など 不安解消と災害時に実施し救済する事を目的とする

<p>プロジェクト活動内容 (800字以内)</p> <p>留意点： <ul style="list-style-type: none"> ・どのような活動を実施するのか ・何回実施するのか ・対象者への告知方法 ・対象者へのフォローアップ方法 </p>	<p>活動名 障害者や高齢者を専門とした防災ネットワーク（避難救済支援）構築</p> <p>趣旨 難病在宅患者、障害当事者（重度身体・視覚聴覚・言語・精神知的障害）・独居高齢者やその家族、関係者に対する社会的孤立の予防と解消 特別な支援（重度身体障害・難病特定疾患・寝たきり独居高齢・生命維持装置 他）が必要な方向けの災害発生時の避難方法や手段 防災対策と現場対応（避難先での受入れ・処置体制づくり）の構築への取組</p> <p>時期と開催回数 2026年4月～7月 広報と準備 毎月第四土曜日 実際の避難所での実体験会と移動支援付き避難訓練 年10回開催</p> <p>対象者 東京都港区・千代田区・中央区・渋谷区・品川区にお住いの障害当事者（重度身体・精神知的）や高齢者 その家族や関係者</p> <p>参加人数（見込み） 避難体験会10回開催（1回20～50名） 意見交流会20回開催（1回5～50名） 500～900名</p> <p>実施場所 港区公共施設や区役所研修室 港区近隣千代田区・中央区・新宿区、渋谷区、品川区の公共施設や役所研修室</p> <p>広報など宣伝周知の方法 特別支援学校での案内 デイサービス・訪問看護事業者との連携や案内 各種SNS 公式HP PRタイムス チラシ投函 医療専門誌広告</p> <p>団体内の実施体制 コアメンバー4名（理事・会員）ボランティア10名 有志（有資格者）5名 計19名体制</p> <p>外部協力・団体 医療福祉学生ボランティア・団体 医療福祉用具メーカー 学術の産学連携として 東北大学 日本大学 甲南大学 静岡大学</p>
--	---

3. スケジュール

助成が決定した場合の実施計画を記載してください。契約前に再度計画を確認しますので、応募後に多少変更が生じて構いません。

2026年3月	採択通知、覚書の締結、助成金の振込
2026年4月	1 広報活動 2 開催趣旨や実施イメージのプレゼン 3 メンバー募集
2026年5月	1 広報活動 2 交流会 1 回開催 3 メンバー募集 4 メディア広告宣伝
2026年6月	1 広報活動 2 交流会 1 回開催 3 メンバー募集 4 メディア広告宣伝
2026年7月	1 広報活動 2 交流会 1 回開催 3 メンバー募集 4 メディア広告宣伝
2026年8月	1 避難体験会 1 回開催 2 交流会 2 回開催 3 メンバー募集
2026年9月	1 避難体験会 1 回開催 2 交流会 2 回開催 3 メンバー募集
2026年10月	1 避難体験会 1 回開催 2 交流会 2 回開催 3 メンバー募集
2026年11月	1 避難体験会 1 回開催 2 交流会 2 回開催 3 メンバー募集
2026年12月	1 避難体験会 1 回開催 2 交流会 2 回開催 3 産学連携 企業参加
2027年1月	1 避難体験会 1 回開催 2 交流会 2 回開催 3 産学連携 企業参加
2027年2月	1 避難体験会 2 回開催 2 交流会 4 回開催 3 産学連携 企業参加
2027年3月	1 避難体験会 2 回開催 2 交流会 4 回開催 3 産学連携 企業参加

※プロジェクトは 2027年3月末日までに完了させてください。

■ 採択決定後

- (1) 贈呈式や交流会・報告会の開催を予定しています。
 - (2) 双方の希望に基づき、オリックス生命保険社員がボランティア参加できる場合があります。
- いずれも具体的な時期は採択後に調整します。

4. プロジェクトの担当と協力体制

担当者氏名	高岡和宏
担当者氏名ふりがな	タカオカカズヒロ
担当者の肩書	副理事長
メールアドレス ※1.と異なる場合に記入	takaokakazuhiro@starsarts.or.jp
電話 ※1.と異なる場合に記入	08046355829
協力団体・協力者の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
協力団体・協力者の名称	東北大学 アーカイブプロジェクトみちのく震録伝 日本大学
協力団体・協力者の役割	災害研究 産学連携（学生社会参加、研究課題授業の一環として）

5. オリックス生命社員ボランティアの受入れ可否

オリックス生命保険株式会社の社員がボランティアとして活動に参加することが可能な場合があります。あなたの団体で、もし希望があれば教えてください。オリックス生命としては、可能な限り社員のボランティア参加を行いたいと考えています。

ボランティアの希望	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他：
(あれば) 希望する内容	毎月開催している防災シンポジウムへの参加(教育機関メディア取材対応アシスタント、ゲスト対応、設営、受付、他) 年2回開催の防災エンタイベント公演への参加(出演者対応、教育機関メディア取材対応アシスタント、会場設営、受付、案内誘導、ブースお手伝い 他) など
(あれば) だいたいの時期	シンポジウム 4月～2027年3月 毎月 エンタメ公演 7月12月
(あれば) だいたいの場所	シンポジウム 東京都港区公共施設 エンタメ公演 都内ホール

※スケジュールなどの不一致や人員不足でご希望がかなわない場合があります。

※一旦ご希望をお預かりの上、具体的な事項は改めて調整します。その過程で貴団体の想定やご希望などと合わないことが判明した場合、無理にボランティアの受入れをお願いすることはありません。

6. オリックス生命保険株式会社との取引関係

団体またはその代表者が、オリックス生命保険株式会社と取引関係(保険契約を除く)にある場合、本プログラムには応募できません。取引関係にないことが確認できた場合、以下「ない」に を入れてください。

取引関係の有無	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
---------	---

応募書類に記載された情報は、オリックス生命株式会社および日本NPOセンター(事務局)が本プログラムの選考および運営の目的に限り使用します。

お問合せ

認定特定非営利活動法人日本NPOセンター

オリックス生命保険 想いをカタチにプロジェクト事務局

メール：omokata.pj@jnpoc.ne.jp

電話：03-3510-0855 (平日 10:00～17:00)

担当：清水・上田

以上